

2025 年度 ルールの変更と確認点

品川区バスケットボール連盟
ルール担当**1. 新たにスローインラインが設置**

TO 側にもスローインラインが設置されるようになりました。4Q または延長残り 2:00 以下でバックコートからスローインするチームにタイムアウトが認められ、フロントコートからの再開を選択した場合、以下ようになります。

ゴール成功の後…ヘッドコーチは TO 側かその反対側のスローインラインのどちらから再開するか選択できる

ファウルやバイオレーションの後…元のスローインと同じ側からスローインで再開

アンスポやディスクォリファイングファウルの後は今までは通り、フリースローの後フロントコートの TO の反対側のスローインラインで再開します。

2. フェイクの要素がある場合

これまではファウルとフェイクが重複して与えられることはありませんでしたが、ファウルが宣せられた場合でも、フェイクの要素があれば警告やテクニカルファウルが重複して与えられる可能性があることになりました。

3. ゲームディスクォリフィケーションマーカー

失格・退場があったとき、アシスタントスコアラーがゲームディスクォリフィケーションマーカーを示すことになりました。

**4. 処置の訂正**

これまでは誤りを訂正できるタイミングが限定的でしたが、審判に確証がある場合、4Q または延長の残り 2:00 より前であればいつでも訂正できることになりました。ただし、4Q または延長の残り 2:00 以降は、誤りがあった後、審判が時計を止めてから再開するまでの間に訂正をしなければなりません。

5. 新たな審判のシグナル

ショット時にファウルがあったとき、その後ボールをパスした場合に審判が示すシグナルが新たに追加されました。



* ルールについて質問がある場合は、大会期間中に役員へ気軽にお声がけください。